

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

Bendamustine[day2,3]+ Obinutuzumab療法

4 週毎 コース予定

疾患名 悪性リンパ腫

主治医 指導医 HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()、HCV抗体()

スケジュール

【1コース目】

		day1	day2	day3	day8	day15
ガザイバ(オビヌツズマブ)	1000 mg/body	↓			↓	↓
ベンダムスチン	90 mg/m ²		↓	↓		

【2コース目以降】

		day1	day2	day3
ガザイバ(オビヌツズマブ)	1000 mg/body	↓		
ベンダムスチン	90 mg/m ²		↓	↓

- 【注意】
- * オビヌツズマブ施行時は体温・脈拍・血圧測定・SpO2測定はup直前におこなうこと。
 - * オビヌツズマブ投与は0.2又は0.22 μ mインラインフィルターを通して投与すること。
 - * ベンダムスチンは調製後6時間以内に投与を終了すること。
 - * ニューモシスチス肺炎予防としてST合剤の投与を検討すること。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

【1コース目】

day 1

- ① 生食 500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② イブプロフェン(100 mg) _____錠 デザレックス(5 mg) _____錠 内服
- ③ デキサメタゾン 6.6 mg + 生食 20 mL 側管静注

☆30分後より

- ④ ガザイバ 1000 mg + 生食 210 mL(全量 250 mL)
◎ 輸液ポンプにて 12 mL/時間 で点滴静注

- ⑤ 12 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 25 mL/時間 で点滴静注
- ⑥ 25 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 37 mL/時間 で点滴静注
- ⑦ 37 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 50 mL/時間 で点滴静注
- ⑧ 50 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 62 mL/時間 で点滴静注
- ⑨ 62 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 75 mL/時間 で点滴静注
- ⑩ 75 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 87 mL/時間 で点滴静注
- ⑪ 87 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間 で点滴静注

day 2

- ① 生食 500 mL にて血管確保 維持(20mL/時間)
- ② パロノセトロン 0.75 mg + デキサメタゾン 9.9 mg + 生食 20 mL 側管静注
- ③ ベンダムスチン + 生食 50 mL 点滴静注10分
 - ◎ 血管確保していた生食をベンダムスチンと同時滴下
- ④ 生食 200 mLを点滴し、残りは破棄

day 3

- ① 生食 500 mL にて血管確保 維持(20mL/時間)
- ② デキサメタゾン 9.9 mg + 生食 20 mL 側管静注
- ③ ベンダムスチン + 生食 50 mL 点滴静注10分
 - ◎ 血管確保していた生食をベンダムスチンと同時滴下
- ④ 生食 200 mLを点滴し、残りは破棄

day 4, 5 デキサメタゾン錠 8 mg 2× 朝昼 内服

day 8, 15

① 生食 500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)

② イブプロフェン(100 mg) _____錠 デザレックス(5 mg) _____錠 内服

③ デキサメタゾン 6.6 mg + 生食 20 mL 側管静注

☆30分後より

※前回投与において発現した有害事象がGrade2以下であった場合

④ ガザイバ 1000 mg + 生食 210 mL(全量 250 mL)

◎ 輸液ポンプにて 25 mL/時間 で点滴静注

⑤ 25 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 50 mL/時間 で点滴静注

⑥ 50 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 75 mL/時間 で点滴静注

⑦ 75 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間 で点滴静注

【2コース目以降】

day 1

① 生食 500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)

② イブプロフェン(100 mg) _____錠 ポララミン(2 mg) _____錠 内服

③ デキサメタゾン 6.6 mg + 生食 20 mL 側管静注

☆30分後より

※前回投与において発現した有害事象がGrade2以下であった場合

④ ガザイバ 1000 mg + 生食 210 mL(全量 250 mL)

◎ 輸液ポンプにて 25 mL/時間 で点滴静注

⑤ 25 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 50 mL/時間 で点滴静注

⑥ 50 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 75 mL/時間 で点滴静注

⑦ 75 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間 で点滴静注

day 2

- ① 生食 500 mL にて血管確保 維持(20mL/時間)
 - ② パロノセトロン 0.75 mg + デキサメタゾン 9.9 mg + 生食 20 mL 側管静注
 - ③ ベンダムスチン + 生食 50 mL 点滴静注10分
- ◎ 血管確保していた生食をベンダムスチンと同時滴下
- ④ 生食 200 mLを点滴し、残りは破棄

day 3

- ① 生食 500 mL にて血管確保 維持(20mL/時間)
 - ② デキサメタゾン 9.9 mg + 生食 20 mL 側管静注
 - ③ ベンダムスチン + 生食 50 mL 点滴静注10分
- ◎ 血管確保していた生食をベンダムスチンと同時滴下
- ④ 生食 200 mLを点滴し、残りは破棄

day 4, 5 デキサメタゾン錠 8 mg 2× 朝昼 内服

	1コース				
	day1	day2	day3	day8	day15
月日	/	/	/	/	/
ガザイバ 開始時刻	↓			↓	↓
ベンダムスチン 開始時刻		↓	↓		
確認					

	コース			コース		
	day1	day2	day3	day1	day2	day3
月日	/	/	/	/	/	/
ガザイバ 開始時刻	↓			↓		
ベンダムスチン 開始時刻		↓	↓		↓	↓
確認						

Bendamustine [day2,3]+Obinutuzumab療法

	コース			コース		
	day1	day2	day3	day1	day2	day3
月日	/	/	/	/	/	/
ガザイバ 開始時刻	↓			↓		
ベンダムスチン 開始時刻		↓	↓		↓	↓
確認						

	コース			コース		
	day1	day2	day3	day1	day2	day3
月日	/	/	/	/	/	/
ガザイバ 開始時刻	↓			↓		
ベンダムスチン 開始時刻		↓	↓		↓	↓
確認						

	コース			コース		
	day1	day2	day3	day1	day2	day3
月日	/	/	/	/	/	/
ガザイバ 開始時刻	↓			↓		
ベンダムスチン 開始時刻		↓	↓		↓	↓
確認						

	コース			コース		
	day1	day2	day3	day1	day2	day3
月日	/	/	/	/	/	/
ガザイバ 開始時刻	↓			↓		
ベンダムスチン 開始時刻		↓	↓		↓	↓
確認						

	コース			コース		
	day1	day2	day3	day1	day2	day3
月日	/	/	/	/	/	/
ガザイバ 開始時刻	↓			↓		
ベンダムスチン 開始時刻		↓	↓		↓	↓
確認						